

○ 有価証券の時価情報

1. 売買目的有価証券

売買目的有価証券は、該当ありません。

2. 満期保有目的の債券(時価が貸借対照表計上額を超えるもの)

(単位:百万円)

種類	2021年9月末			2022年3月末			2022年9月末		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
国債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地方債	199	200	0	—	—	—	—	—	—
短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	199	200	0	—	—	—	—	—	—

3. 子会社・子法人等株式および関連法人等株式

子会社・子法人等株式および関連法人等株式は市場価格のない株式等であるため、下記「5. 市場価格のない株式等の主な内容および貸借対照表計上額」に記載しております。

4. その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	2021年9月末			2022年3月末			2022年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	87	80	6	93	90	2	84	80	3
	債券	66,818	66,183	635	39,079	38,844	235	17,781	17,717	64
	国債	7,212	7,181	31	2,684	2,668	16	496	496	0
	地方債	9,122	9,029	92	3,042	3,033	8	290	289	0
	短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社債	50,483	49,971	511	33,352	33,142	210	16,994	16,931	63
	その他	4,679	4,641	37	3,365	3,341	23	2,945	2,931	14
	小 計	71,585	70,905	679	42,538	42,276	261	20,811	20,729	81
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	18	20	△1	18	20	△2	—	—	—
	債券	12,689	12,743	△54	49,050	49,617	△567	78,574	80,280	△1,706
	国債	2,875	2,886	△11	14,394	14,653	△259	20,349	21,153	△803
	地方債	1,191	1,197	△6	6,872	6,936	△63	8,957	9,122	△164
	短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社債	8,622	8,659	△36	27,782	28,027	△245	49,267	50,004	△737
	その他	1,385	1,400	△14	2,185	2,200	△14	13,292	13,346	△53
	小 計	14,093	14,164	△70	51,253	51,837	△584	91,867	93,627	△1,760
合 計		85,679	85,069	609	93,791	94,114	△323	112,678	114,356	△1,678

5. 市場価格のない株式等の主な内容および貸借対照表計上額

(単位:百万円)

	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
子会社・子法人等株式	50	50	50
関連法人等株式	—	—	—
非上場株式	12	12	12
労働金庫連合会出資金	7,700	7,700	7,700
私募投資信託	7,379	7,881	—
合 計	15,141	15,643	7,762

○ 中国ろうきんのネットワーク

鳥 取 支 店 ☎(0857)23-1241
ローンセンター鳥取 ☎0120-25-3655
倉 吉 支 店 ☎(0858)23-2441
米 子 支 店 ☎(0859)22-1200
ローンセンター米子 ☎0120-35-6475

松 江 支 店 ☎(0852)27-3636
ローンセンター松江 ☎0120-31-0209
安 来 支 店 ☎(0854)22-1525
雲 南 支 店 ☎(0854)42-2121
出 雲 支 店 ☎(0853)21-3737
ローンセンター出雲 ☎0120-86-3788
大 田 代 理 店 ☎(0854)82-4141
浜 田 支 店 ☎(0855)22-0431
益 田 支 店 ☎(0856)22-0196

岡 山 支 店 ☎(086)252-6111
岡 山 東 支 店 ☎(086)201-5588
ローンセンター岡山東 ☎0120-29-4160
岡 山 西 支 店 ☎(086)242-2411
ローンセンター岡山西 ☎0120-38-4160
倉 敷 支 店 ☎(086)422-6141
ローンセンター倉敷 ☎0120-53-4160
水 島 支 店 ☎(086)446-2552
玉 野 支 店 ☎(0863)31-5331
津 山 支 店 ☎(0868)22-7168
備 中 支 店 ☎(0866)23-1112

本 店 営 業 部 ☎(082)261-6411
ローンセンター広島中央 ☎0120-36-4160
広 島 東 支 店 ☎(082)281-6391
広 島 西 支 店 ☎(082)292-6711
ローンセンター広島西 ☎0120-39-6311
大 竹 支 店 ☎(0827)57-7780
三 次 支 店 ☎(0824)63-4221
西 条 支 店 ☎(082)422-6655
ローンセンター西条 ☎0120-68-4160
呉 支 店 ☎(0823)21-6247
原 支 店 ☎(0848)62-4128
尾 道 支 店 ☎(0848)46-8110
因 島 代 理 店 ☎(0845)22-2517
府 中 支 店 ☎(0847)45-7511
福 山 支 店 ☎(084)925-3810
ローンセンター福山 ☎0120-60-8620
銅 管 町 支 店 ☎(084)940-3939

広島

山 口 支 店 ☎(083)920-5200
岩 国 支 店 ☎(0827)21-7335
柳 井 代 理 店 ☎(0820)23-1234
下 松 支 店 ☎(0833)41-1770
徳 山 支 店 ☎(0834)21-2128
ローンセンター徳山 ☎0120-62-4160
防 府 支 店 ☎(0835)22-1863
ローンセンター防府 ☎0120-46-4160
宇 部 支 店 ☎(0836)31-2820
ローンセンター宇部 ☎0120-78-4160
小 野 田 支 店 ☎(0836)83-2268
下 関 支 店 ☎(083)223-8141
ローンセンター下関 ☎0120-02-5002
萩 支 店 ☎(0838)22-1225

山口



中国ろうきん

検索

<https://www.chugoku.rokin.or.jp/>

2022年11月 発行



金額、比率の表示方法

1 金額単位

- (1)各表に表示した金額は単位未満の端数を切り捨てて記載しています(ただし、「労働金庫法および金融再生法ベースの債権区分による開示債権」は、単位未満を四捨五入しています)。
- (2)小計、合計等の合算は円単位まで算出し、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。
- (3)期中増減額は、円単位まで算出し、単位未満の端数を切り捨てて記載しています。
- (4)その他 「－」 該当数字がない場合 「0」 単位未満の数字がある場合 「△」 マイナス値の場合

2 諸比率

小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。なお、官庁報告に係る諸比率等は報告数値をそのまま記載しています。

半期決算は法定されていないため、会計監査人監査の対象となっておりません。

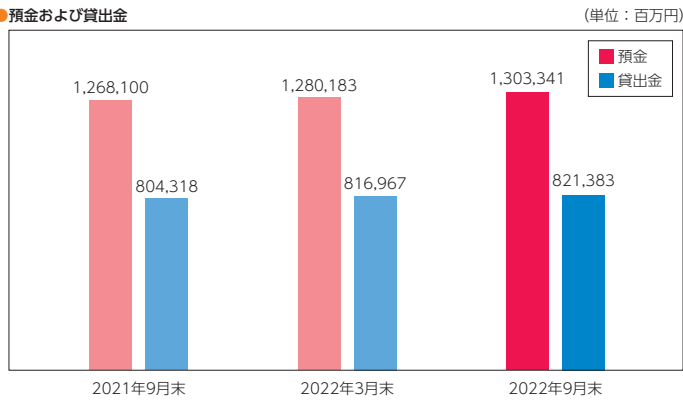
中国ろうきんの現況（2022年9月末現在）

○ 中国労働金庫の概要

■ 理 事 長	戸 守 学	■ 団 体 会 員 数	3,537会員
■ 本 店 所 在 地	広島市南区稲荷町1番14号	■ 間 接 構 成 員 数	608,543人
■ 創 立	2003年10月1日（中国4労働金庫統合）	■ 店 舗 数	39店舗
■ 出 資 金	69億円	■ 常 勤 役 職 員 数	603人

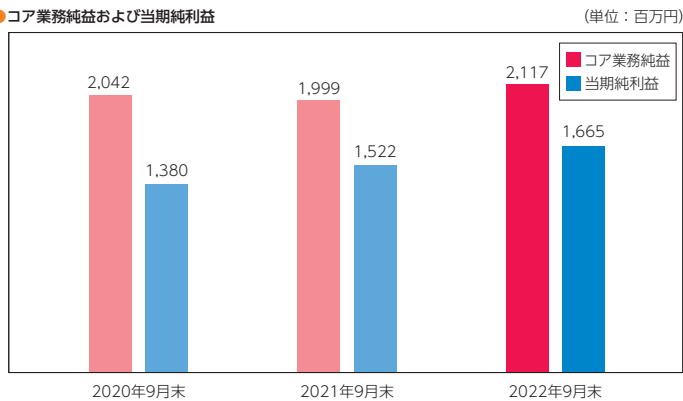
○ 預金・貸出金の状況

- 預金は、期首から231億円増加となり、残高は1兆3,033億円となりました。内訳は個人預金が178億円の増加、団体預金が53億円の増加（うち一斉積立は1億円の減少）となりました。
- 貸出金は、期首から44億円増加し、残高は8,213億円となりました。内訳は、有担保ローン（個人）が23億円の増加、無担保ローン（個人）が16億円の増加、団体融資やその他のローンが4億円の増加となりました。



○ 収支の状況

- 業務純益は、前年同期比1億円増加の21億円となり、実質業務純益は21億円となりました。コア業務純益は前年同期比1億円増加の21億円となり、コア業務純益（投資信託解約損金を除く。）は21億円となりました。
- 経常収益は前年同期比89百万円増加の93億円となりました。経常費用は、前年同期比88百万円減少の70億円となりました。その結果経常利益は前年同期比1億円増加の23億円となりました。
- 当期純利益は、前年同期比1億円増加の16億円となりました。



○ 貸借対照表

(単位:百万円)			
資産の部	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
現金	9,685	9,101	9,918
預け金	466,031	440,552	417,341
金銭の信託	2,000	1,000	1,000
有価証券	93,320	101,735	112,740
貸出金	804,318	816,967	821,383
その他資産	10,267	10,469	10,377
有形固定資産	11,570	11,445	11,217
無形固定資産	136	123	117
前払年金費用	257	338	418
繰延税金資産	843	1,038	1,386
債務保証見返	10	9	7
貸倒引当金	△534	△620	△456
合 計	1,397,908	1,392,160	1,385,452

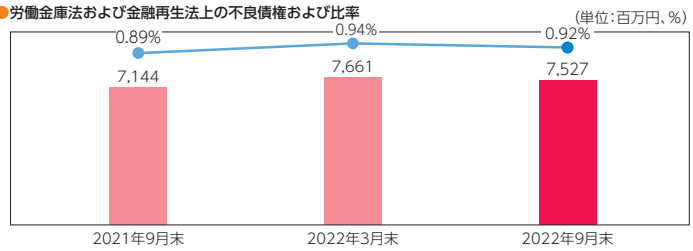
(単位:百万円)			
負債および純資産の部	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
預金積金	1,255,980	1,269,064	1,292,121
譲渡性預金	12,119	11,119	11,220
借入金	62,700	44,900	14,500
その他負債	2,602	2,809	2,894
賞与引当金	320	310	321
退職給付引当金	3,209	3,049	3,130
役員退職慰労引当金	82	96	110
睡眠預金払戻損失引当金	66	48	33
再評価に係る繰延税金負債	20	20	20
債務保証	10	9	7
負債の部合計	1,337,112	1,331,427	1,324,359
出資金	6,983	6,978	6,977
利益剰余金	53,412	54,028	55,384
処分未済持分	△7	—	△5
会員勘定合計	60,388	61,006	62,356
その他有価証券評価差額金	445	△235	△1,225
土地再評価差額金	△37	△37	△37
評価・換算差額等合計	407	△273	△1,262
純資産の部合計	60,795	60,733	61,093
合 計	1,397,908	1,392,160	1,385,452

○ 損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	2020年9月末	2021年9月末	2022年9月末
経常収益	9,142	9,223	9,312
資金運用収益	8,013	8,002	8,032
役務取引等収益	519	427	359
その他業務収益	582	649	728
臨時収益	27	143	191
経常費用	7,232	7,097	7,008
資金調達費用	306	347	380
役務取引等費用	1,457	1,519	1,585
その他業務費用	58	0	1
経費	5,267	5,192	5,030
臨時費用	142	37	10
経常利益	1,910	2,125	2,303
特別利益	5	14	—
特別損失	4	18	—
税引前当期純利益	1,910	2,122	2,303
法人税、住民税および事業税	530	535	620
法人税等調整額	0	64	17
当期純利益	1,380	1,522	1,665

○ 労働金庫法および金融再生法ベースの債権区分による開示債権

- 労働金庫法および金融再生法ベースの債権区分による2022年9月の不良債権合計は7,527百万円となりました。内訳は、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」が2,318百万円、「危険債権」が4,632百万円、「要管理債権」が577百万円（うち、「三月以上延滞債権」が531百万円、「貸出条件緩和債権」が46百万円）となっています。
- 不良債権比率（総と信残高822,137百万円に占める割合）は0.92%となっています。



「労働金庫法および金融再生法ベースの債権区分による不良債権」とは
何らかの理由により、返済されない等の債権のことです。その債務者の状態により「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」「危険債権」「三月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に区分されます。

「危険債権」とは
総と信額（貸出金、外国為替、債務保証見返、与信関係未収利息・仮払金等融資関連の全科目）のうち、債務者が経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態および経営成績が悪化して契約に従った債権の元本の回収と利息の受取りができない可能性が高い債権のことで、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」に該当しないものです。

「三月以上延滞債権」とは
元本または利息の支払いが約定の支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」ならびに「危険債権」に該当しないものです。

区 分	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
不良債権合計	7,144	7,661	7,527
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	2,420	2,375	2,318
危険債権	4,472	5,004	4,632
要管理債権	252	282	577
三月以上延滞債権	250	280	531
貸出条件緩和債権	2	2	46
保全額	7,135	7,654	7,475
担保・保証等による回収見込み額	6,610	7,044	7,435
貸倒引当金	525	610	40
保全率	99.88%	99.90%	99.31%
正常債権	797,956	810,147	814,610
合計	805,100	817,808	822,137
不良債権比率	0.89%	0.94%	0.92%

「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは
総と信額（貸出金、外国為替、債務保証見返、与信関係未収利息・仮払金等融資関連の全科目）のうち、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由によって経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれに準ずる債権のことです。

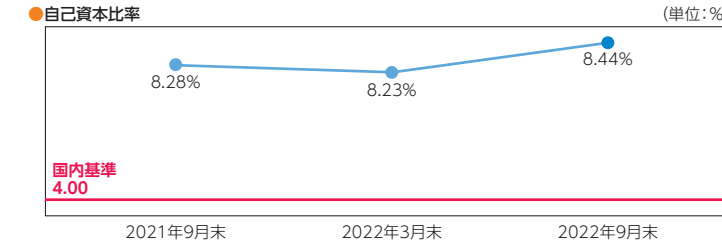
「要管理債権」とは
貸出金のうち、上記の「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」と「危険債権」を除いた「三月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」の合計額のことです。

「貸出条件緩和債権」とは
債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免や利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「三月以上延滞債権」に該当しないものです。
貸し出したお金は回収されることを前提としている点で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」と異なります。

○ 自己資本比率

- 「自己資本比率」は、8.44%（概算値）となり、国内基準である4%を大きく上回っています。

「自己資本比率」とは
自己資本比率とは、金融機関の自己資本の状況が適当であるかどうかを判断するための基準として、法令により定められた指標です。



自己資本の構成に関する主な開示事項	2022年3月末	2022年9月末 (概算値)
コア資本に係る基礎項目の額（経過措置による算入額）（イ）	60,697	62,779
コア資本に係る調整項目の額（経過措置による不算入額）（ロ）	370	345
自己資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	60,338	62,433
リスク・アセット等の額の合計額（経過措置による算入額）（ニ）	732,529	739,415
自己資本比率（国内基準）（ハ）／（ニ）	8.23	8.44

定量的な開示事項	2022年3月末	2022年9月末
信用リスクに対する所要自己資本の額	28,287	28,562
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	1,013	1,013
単体総所要自己資本額等	29,301	29,576

（注）
当金庫では、9月期決算を法定されておりませんが、内部規定に基づき、3月末本決算に準じた仮決算を行っております。左記2022年9月期の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。
2014年3月末から、いわゆるバーゼルⅢを適用した自己資本比率規制告示（平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号、最終改正：平成26年3月28日）に示された基準により計算しています。